

書き損じハガキ、(未使用)切手を送ってください!



ご家庭や会社などで書き損じのハガキ、スタンプを押していない切手など眠っていませんか? 自立生活部門ではこれらを集めて活動資金にあてたいと思っています。ご協力をお願いします。

ご協力ありがとうございます

＜後援会費を振り込んでいただいた方＞(敬称を略させていただきます)

坂本百合 橘井年子 石崎邦彦

＜カンパ・寄付をいただいた方＞

赤川由里子 田口昭男 佐藤純子 導官敬子 石崎邦彦

＜書き損じハガキ・未使用切手・未使用テレホンカードをお送りいただいた方＞

岡崎ヨシ子 木下さん一家 堀川幸子 山下恵都子 津田年子

山本雄介 田村崇 西尾心治 酒井待子

「障害者自立、相談のるで！」

4月にオープンした、自立生活支援センター「わくわく」では、知的障害を持つ方の相談を受けています。現在、15件以上の電話相談があり、面談を行いました。相談を受け持つのは、メンバーリーダーの生田進。



生田:「障害者は、自立のことを真剣に考えたほうがええ。いずれ、お父もお母もおらんようになってしまふで。車椅子やったら一人暮らしには介護者がいるで。ご飯はホームヘルパーがおればいけんことはない。おれの話聞いてくれるなら、相談にのるで」

自立生活支援センター電話番号 0729-60-3611

FAX 0729-60-3613 E-mail WakuWaku@abox4.so-net.ne.jp



パンジーでは、後援会員を募集しています

賛助会員	1口	1ヵ月	500円
本会員	1口	1ヵ月	1,000円
特別会員	1口	1ヵ月	5,000円
郵便振替番号	00950-1-300551		
クリエイティブハウス「パンジー」			

編集人 東大阪市東鴻池町2-4-8
クリエイティブハウス TEL:0729-63-8818
“パンジー” FAX:0729-63-8825

発行人 関西障害者定期刊行物協会
大阪市城東区東中浜3-5-16
タイガーマンション1F101号

一九九六年五月一日

第三種郵便物認可

毎日発行

領価二五〇円

KSKR
No.39



パンジーだより

中山 千景

発行 2000年7月
編集 クリエイティブハウス
“パンジー”

ここにパンジーあり!

今年の梅雨は、じめじめしとしとむんむんと、例年以上にけだるさを感じさせます。暑くともすっきり晴れた夏に突入して欲しいと思っているのは私だけでしょうか。

2000年度に入って4ヶ月。例年なら少々の変化はあっても、「みんながんばってます」の報告で終わってしまうところ、今年ばかりはそうはいかないようです。何せ、クリエイティブハウス「パンジーⅡ」、4つめのグループホーム、「てくてく」、そして念願の自立生活支援センター「わくわく」がスタートしたのですから。

パンジー前の府営住宅に「てくてく」ができたことにより、地域の自治会と前向きな話し合いができ、再度ここに「パンジーあり」との啓発ができました。パンジーⅡでは、配食サービスの宣伝のビラを地域に配ったところ、配食サービスではないのですが、近くの工場から短期間の仕事をいただきました。約一週間の仕事でしたが、メンバーは大張り切りで工場に通い、仕事をなしとげました。

また、昨年、近くのゴルフ練習場からチャリティーの寄付をいただいたことをきっかけに、ゴルフ場内のレストランから食パンの注文をいただいたり、練習場内の花壇の一面の整備を園芸の仕事として契約して頂いたりしました。

そんな中、5月27日に「パンジーまつり」を行いました。パンジーとパンジーⅡをあわせて50人のメンバー、職員、保護者、ガイドヘルパーを加えると関係者だけでも150名以上の大所帯となりました。あいにくの天候でパンジー前に出す予定の模擬店を中庭に、バザー用品売場をクリエイティブの部屋に移してのパンジーまつりとなりました。

パンジー内は関係者でいっぱい、外は雨で最悪のパンジーまつりになるのではと懸念しましたが、雨もたいしたことはなく、地域の方の参加が例年と同じようにあり、売り上げも昨年に近い額ができました。本当にありがとうございました。

7年前、パンジーがスタートしたときは、地域とのいろいろな意味での接点があったと思います。それが、よく言えば地域の中で当たり前存在となり、わるく言えば接点が薄れてきたのではと思わされるように感じることもありました。しかし、今回のパンジーの拡張を機に、パンジーの活動を見直し、地域に根ざした活動をしていきたいと思っています。

(みつよし)

一九九六年五月一日

第三種郵便物認可

毎日発行

領価二五〇円



にぎやかなパン屋です

みなさまお元気ですか。最近暑くて私は毎日がふらふらですが、メンバーはみんな元気です。さて、4月から早いもので4ヶ月ほど経ちました。新しく仲間になったメンバーも慣れてきたように思います。また、前からいるメンバーが先輩として新しい人に教えている姿はとてまかつこいいです。

最近のパン屋は、お客さんが多くて賑やかです。ここ2ヶ月ほどの間に、梅花保育園、鴻池東小学校、小阪中学校、松原高校と、実習に来られる方が続き、メンバーは照れながらも親切に教えていて、とてもたのしかったです。

実習が終わって1週間後、保育園から、それぞれの顔をかいた手紙を届けてくれました。今、パンジーに飾ってあります。鴻池東小学校は毎年3年生が来てくれています。小阪中学校は、生徒会の代表の方が毎年来られ、全校生徒にパンの注文をとってくれます。松原高校の方も毎年来られます。優しい、いい人たちで、毎年パン屋でこき使われて帰っていきます(かわいそうに)。でも楽しんで帰ってくれるのがわかり、うれしいです。みなさんもどんどんパンジーに遊びに来てください。

さて、パン屋からお知らせがあります。食パンのサイズが大きくなり、一般に売られている食パンのサイズになりました。なのに値段は今まで通りで、とてもお買い得です。定期購入される方を募集していますが、パンジーから配達可能な地域に限ります。我が家はどうか？と思う方はお電話を。(0729)63-8837 (ゆきめ)



自分のいかたを選択する

4月から新しい人と共にクリエイティブが始まりましたが、このごろは、落ち着きが見られるようになってきたなあと感じます。Yさんは、まわりの刺激に影響されやすいところがあり、そのために少し作業をしては、自分の関心のあることをするために作業室から出て行って、1階の食堂、パン工場、2階の事務所、体験宿泊室などに行き、落ち着きなく過ごしていました。

そんな最中に、まわりの人たちの大きな声や、思いがけない身動きから、自分の気持ちのリズムを崩してしまう事もあります。この4月からYさんは、みんなから少し離れた自分の占有スペースで作業す



自立生活センターのめざすもの 〈エンパワーメント〉

シリーズの2回目で述べたように、自立支援は制度化された事業にはなっていません。しかしそれに使える直接サービスは、いろいろとあります。ショートステイ、ガイドヘルプ、グループホーム、就労に向けたトライアル雇用など。自立生活支援センター「わくわく」は、まずはこうした直接サービスを、タイムリーによりよい質で準備できるように頑張りたいと思います。

しかし他方で、(誤解を恐れず言えば)サービスの提供それ自身が目的ではありません。孤立と不安に置かれている障害者ひとりひとりが、閉じこめられたあきらめの世界から踏み出すこと、自分には未来があると感じだしていくかどうかです。

多くの体験、失敗とそれを乗り越えていく経験を、仲間のつながりの中で積み重ねること、それによって自分の人生を切り開いていく力をつけていくこと、一言で言えば〈エンパワーメント〉が目的です。

社会の中での位置と役割についてもこれまで述べてきました。それは「一般就労する」という意味ではありません。2年ほど前にアラスカで開かれたピープルファースト世界大会に参加して、印象深かったことがあります。分科会の司会をする当事者は、初めに自己紹介してくれましたが、多くの人が「どこの地域生活支援センターでこういう仕事をしています」と誇らしげに言っていました。みんなのためになる仕事を、その仕事の価値を正當に評価されて、給料をもらっていることへの自信だと私は思いました。

自立生活支援センター「わくわく」は、まず提供できるサービスの量と質の充実をめざします。当事者による相談活動を手がけました。スタッフの育成に力を入れます。1年後には「ここまでは来た」と言えるように頑張りたいと思います。〈おわり〉(広田)



パンジー美術館

柳川の風景

内田画伯の華麗なる世界

水彩画

わくわくだより

当事者が当事者を支援する



自立生活支援センター「わくわく」がオープンして3ヶ月が過ぎました。5年前、ガイドヘルパーの派遣を主な仕事として始めたわくわくは、ショートステイや巡回療育相談、さらにはグループホームをもひっくるめて、パンジーに通うメンバーだけでなく、地域で暮らす知的障害者とその家族を支援するという機能を持つようになりました。そして今年、これまで課題だった「当事者が当事者を支援する」ことを積極的に進めていこうと、自立に関する相談と情報発信をメンバーが仕事として取り組み始めています。

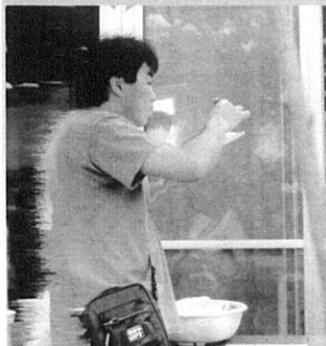
自立に関する相談は、一人暮らし歴10数年、ピープルファーストの活動も長い生田さんが、毎週水曜日の午後を「相談日」とし、パンジーのメンバーや地域の方たちの相談を受けています。在宅で、友だちもいない孤独な人たちに生田さんは「一人でおったらあかん。友達を作りたかったら、なかま会やピープルファーストがある。どっか行きたかったらガイドヘルパー使ったらええ」とアドバイスしています。

また隔週の木曜日には、一人暮らしやグループホームのメンバーが中心となって、在宅の人たちに、グループホームやわくわく活動のこと、なかま会やピープルファーストを知ってもらうことを目的にした、「自立生活友の会」を開き、自立に関する新聞を作っています。

これまでも自立メンバーたちは、講演会活動や「元気が出る話」(自信をつけるためのプログラム)を通して「当事者から当事者へ」のメッセージを送ってきました。それをより具体的に、支援という形で提供することが、社会の中での役割となり、新たな自信につながっていくんだろうな、と思っています。「自立生活友の会」のメンバーはやる気いっぱい、これからすごい力を発揮してくれることと思います。

(たき)

パンジー美術部



スケッチをする内田画伯

内田画伯プロフィール

パンジー始まって以来の「超写実派」。観察眼のすばらしさは他の追随をゆるさない。紙面では色使いのすばらしさをお届けできないのが残念。

「悪者派」の肌勢画伯と「まぐろ派」の山本画伯と共に、今後の活躍が期待される。

パン・PAN・クリエイティブ・CREATIVE・配食サービス・HAISYOKUSERVICE

るようになりました。そのことによって不要な刺激が減り、作業室から外に出て歩き回ることも減り、以前より仕事に安定してつけるようになりました。

6月からはUさんも、部屋の隅の静かなスペースをパーティションで区切り、個室のようにして作業をしています。そのことによって、みんなと一緒に作業をするか、一人で静かに作業をするかといった、自分のいかたを、自分で選択できるようになりました。機嫌が悪く、大きな声を出したくなかったときには、みんなから離れた自分のスペースに行き、自分で衝動をやり過ごせる力を持てるようになればよいと思っています。

(大北)



外へ出ていく&中で助け合う

こんにちは！「パンジーII」です。「クリエイティブ」や「パン」のような部門名は今みんなでお考え中です。パンジーIIがスタートしてから3ヶ月がたちました。この間ゆっくりですが色々なことを自分たちのものとして形作って来たと思います。

園芸では、(株)東大阪ゴルフセンターの玄関前花壇の植え替えの年間契約をとることができました。第一回めの植え替え以降、メンバーのIさんはよくセンターのレストランにモーニング(トーストはパンジーの食パンです)を食べに行き、みんなに花の様子を伝えてくれます。配食サービスではどれだけ当事者の人たちが役割を担えるかを大切にして、伝票書き、調理、盛りつけ、配達、弁当箱回収、お金の計算、弁当箱洗い、エプロンの洗濯などそれぞれの役割をメンバーの人たちが自信をもってやるようになってきました。パンジーIIの斜め向かいの会社が短期アルバイトを依頼してくれたことも嬉しいことでした。約一週間、メンバー数人で汗をかいて会社の倉庫前で作業をし、いきいきとした顔で働く姿は印象的でした。「またこんな仕事とろうな！」と、外へ出ていく仕事と中で助け合っ

する仕事をこれからもみんなで作り出していきたいと思っています。(にっちゃん)



あつあつのごはんを弁当につめる。

弁当の配達、行って来ま〜す。





「つばさ」を、よろしく。



5月より、グループホームが新体制となり、メンバーにも介護者にも変更がありました。つばさでは、新しくU君とN君が加わりました。去年から泊まっているメンバーは環境が変わって戸惑いもあったようですが、現在は、それぞれの過ごし方や一緒に泊まるメンバーにも慣れ、落ち着いてきています。

ここで、新しくつばさに来たメンバーを紹介します。去年までショートステイだったN君。メンバーとにぎやかに過ごすこと、レンタルビデオを借りるのが楽しみになっています。夕食の手伝いなど、自分のやりたい仕事も見つかったようです。去年はグループホーム青空にいたU君。去年1年間がんばってきて楽しかったことや、新しくしてみたいことなども色々話してくれます。前にもまして、生活の場として定着しているようです。そして、今の時期は阪神ファンのU君、O君を中心に、にぎやかに野球観戦を楽しんだりというのがつばさの日常です。

去年からいる人も新しい人も、グループホームでの生活が定着してきて、一人ひとりに自信が付き、生活にひろがりが出てくるのは本当に素晴らしいことだと思います。こんなつばさを、これからもよろしく願います。 (のむら)



てくてくのご近所づきあい

引っ越ししてから、早くも2ヶ月がたちました。この間、メンバーはとてもうまく近所づきあいをしています。5月13日のふれあい祭りの日、団地の掃除があり、肌勢さん、小松原くん、福田さんが参加し、7、8階に住んでいる人たちに会いました。3人はとても熱心に草抜きをしてデビューは大成功でした。

同じ階のAさんは、朝晩のあいさつはもちろん、先日は回覧板のついでに部屋に入ってメンバーの夕食メニューを見て「おいしそう」と言っていました。Bさんにはとてもお世話になりました。平石さんが腰痛で朝起きられないとき、福田さんが機転をきかして湿布を借りに行ったところ、とても快く貸してくれたのです。

でも、ちょっと失敗もありました。6月の掃除のとき、ナメクジに参っていた肌勢さんが朝の5時から、Aさんのところへ掃除があるかどうか聞きに行ったのです。Aさん、ごめんなさい。それもこれもメンバーがAさんの好意を感じていたということだと思います。それから、小さな赤ちゃんを抱いた若いお母さん、名前は知らないのですがいつもにこにこ挨拶をしてくれます。これからも私たち、てくてくをよろしくおねがいします。



(吉田光枝)



からだ・いのちのこと

中新井 滯子



パンジー、パンジーⅡのメンバーの持っている障害(生きにくさ、動きにくさ)は実に多様である。その多様性において、法定の通所授産施設では、たぶん日本一ではないか(別に何の根拠もないのだが)と思うくらいである。

そんな中でパンジー(Ⅱも)では現在あるいは将来的に、地域の中でのその人なりの自立生活を見すえてメンバー一人ひとりの個別のニーズを支援する毎日が続けられている。私は、20年前、やはり法定の二つの施設の中で、一人ひとりの子どもの発達課題と地域での子どもとしての当たり前生活を同時に支援するために、努力していたことを思い出してしまう。そして、どうぞゆっくりとがんばってと声をかけたい。



でも、今日お話ししたいのはそんな施設のありようではない。今までのこの頁ではふれてこなかった「からだ」「いのち」のことを、やはり個別のニーズを通して考えてみたいと思っている。

前回まではコミュニケーションの困難な人や問題行動のある人などへのかかわりについて、人間関係を中心に具体的な実践を報告してきた。これは、地域の中での生活を送る上で大きな「カギ」になると思っているからである。

でも、人間は「心」に服を着ているわけではないことも忘れてはならない。このことを改めて気づかせてくれたのは、去年のみどりさんの急逝である。メンバーたちの幼なかつたころには、慎重に配慮していた健康面に対して、すっかり大きくなった彼らと接していると、私自身もどこかで安心してしまっているところがあった。一方では、仮にリスクがあったとしても、本人の望む生活のために、あえてそのリスクを引き受けるという生き方もあるだろう。

大切なのは、本人やその人の生活を支える人たちがリスクを把握し、身体のサインを読みとる力をつけることだ。障害の程度にかかわらず、メンバーの中には、身体の不快感を察知したり、不調を訴えることの手順な人たちも多い。でも、医療スタッフが側におれば解決する問題ではない。彼らのニーズをつかむ力を持っているのは、日々かかわっているスタッフやヘルパーだからである。

その上で、かかりつけのドクターや訓練士に支援の輪に入ってもらおう。「からだ」「いのち」に関する課題を明確にし、具体的なかかわりの手だてを一緒に考えてもらうためである。

私にとっても知らないことの多い分野ではあるが、これからケースを通して報告したい。

エッセイの小部屋

ムッシュ肌勢の、「夢は夜ひらく」



なら (奈良)



奈良にみんなで遊びにいった。なんかはよろこんでいった。することといったら猿沢の池のまわりを歩いてみたり、奈良の大仏を見物しました。

にんげんたち (人間たち)

人の大ぜいいてる大阪は100万人はいる。どこへいっても、つるはし、神戸とあそびに行くと、人がいっぱいまっている。

ぬる (塗る)

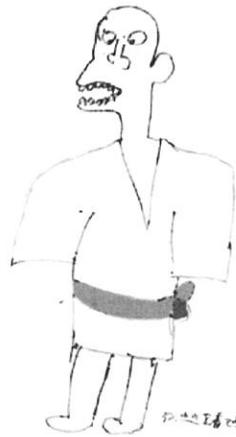
絵をかくのがとくいです。私は美術がとくいです。どんな絵でもかきます。すばらしい家ばかりの絵、港の近くの浜辺の絵だとかが好きです。



悪者の絵

ねまきをきてあるく (寝巻きを着て歩く)

旅行にいった夜にえんかいのときに楽しい一日を過ごして、夜はさわいでみんなで楽しんでおこられた。



のストラダムス (ノストラダムス)

地球はばくはつするといっているが、いずれ地球はぜつめつすると何億人の人間が地の底におちていくといっていたが、それはありえないのである。



「青空」にて、空をつかむ。

グループホーム Diary

今、出勤前、青空に立ち寄ってこの原稿を書いている。

仕事に行く前の少し緊張した感じがものを書くのに程良い心地よさを与えている。

このロケーションからいうと、鴻池の駅から線路沿いに住道の方向に歩いて5分くらい。以前、ここには自立生活を送るHさんという大変人のよいおじさんが住んでいた。以前彼は、近所のMOVEというビデオ屋によく通っていて、昨年、お邪魔させてもらった時には、この辺りは彼の生活圏で12号棟7階のこの部屋にも、生活のにおいが漂っていた(現在、このメンバーであるTくんは、Hさんのことをよく云っている)。もちろん、その頃には戻ることはできないが、今ここで生活している人たちと生活感をつくっていくのが課題だと思っている。

今ここで感じられるのは、空をつかむような生活の不確かさと浮遊感だ。それを青空という言葉のもつ解放感にかえていくのが今のキーポイントだと思う。

(つづく?)(石川)



朝摘み「いんげん」、香りよい「青ジソ」

4月にスタートして4ヶ月、メンバーも私も少しづつ慣れてきたパンジーIIの調理室は、皆の「今日のメニューは何？」の声があいさつがわりのような感じです。月曜日には、週末やわくわく活動の楽しい報告も加わったりします。「今日もがんばっていきましょう。さあ張り切っていきましょう」のIさんのかけ声と共にエプロン姿のメンバー登場。共に食材と格闘する配食サービスの火曜日の始まりです。



水曜の午後からは屋上の園芸スペースで野菜作り。炎天下での作業、暑い～、疲れたと言いながら、皆いい顔して降りてきます。きゅうり、オクラetc夏野菜がいろいろ育っています。はじめてとれたトマトを味見したFさんによると、「甘くておいしかった」そうです。皆の作った野菜は、久々復活のスーパーカナエで、木曜日に販売しています。現在販売中の青ジソは、摘み立てで香りよく、たびたびメニューにも登場しています。ぜひ、皆さんも足を運んでみてくださいね。

また、今回は金曜日の配食サービスで、パンジーII作、いんげんを使ったメニューにしてみました。朝取れたての青々しいいんげんでした。

無農薬野菜らしく、型は様々で自然いっぱいです。このようなパンジーIIの一週間、来週にはどんな野菜を両手に抱えて来てくれるのかな、と心待ちにしながら、包丁を握っています。

(古城)

New Face

新人紹介



たなべつよし
田辺剛志さん



ライトハウスに5年いた後、パンジーに来ました。パンジーでは午前中はパン屋に、昼からはクリエイティブでハンガーやさりをしています。

パン屋では、パン生地の感触が気持ちよく、いつも楽しくパン作りをしています。また時々販売にも行って、三洋電機や教育委員会で元気よくパンを売っています。

ラジオで歌やニュースを聞くのが好きで、パンジーの昼休みにはカラオケで榎原敬之やチューブの歌を歌うのが楽しみです。土日にはわくわく活動の他に、登山を趣味に持ち、高い場所での風はとても爽快です。

つるうちゆうすけ
鶴内祐輔さん

鶴内さんの紹介で一番話したいのは、送迎のリフト自動車に乗って帰る時の「バイバイ」です。それはもう、車の中から一生懸命、両手で振ってくれるのです。しかも最高の笑顔で。見送る側もまた、精一杯手を振り、今日も良い一日やったなあ心地良い気持ちになります。そんな鶴内さんはクリエイティブ部門で働いています。集中力が高まった時はすごく、「休憩しようか」という声かけも耳に入れず2時間も仕事をし続けています。今ではクリエイティブの仲間の「元気の素」です。



みなづきのぶひろ
水月昇弘さん

生年月日; 1979年10月3日(20才)てんびん座。20才の水月さんです。毎日、元気いっぱい彼の「イエス、ノー」インタビュー!!!

Q1、パンジーの仲間は好きですか? A1、はい

Q2、パンジーの昼飯は好きですか? A2、はい

Q3、園芸の仕事をがんばっていますが、今まで園芸の仕事をしたことがありますか? A3、いいえ

Q4、ショートステイは楽しいですか? A4、大きな はい

ラストQ、家族は好きですか? A5、はい

ありがとうございました。これからもよろしくお願ひします。



新人紹介

New Face

まつしまようへい
松島洋平さん



松島洋平さんはクリエイティブで朝はハンガーの組み立て、昼からは配達や営業に出かけ大活躍中です。配達やバザー用品の回収時には重い荷物を軽々と持って運んでくれたり、荷台を丁寧に押してくれたり、また、ハンガー組み立ても正確かつ早くて、頼りにしています。見た目は体も大きくゆったりとしているのですが実を言うと動きはとても俊敏なのです。そんな、松島さんはクリエイティブの雰囲気や優しい笑顔で和ませてくれる人気者なのです。

おかべ
岡部さおりさん

パンジーに来てまだ4か月ですが、毎日いろんな人が岡部さんに声をかけていて、楽しそうに日中を過ごしています。一番うれしそうなのは他のメンバーが楽しそうに世間話をしているのを聞いているときと、作業室でかかっている音楽を聴いているときです。その姿はみんなが仕事をしているのを見守っているような感じです。

お昼はのんびりとご飯を食べて、たまに外に散歩に行ったりすると、いい笑顔を見せてくれます。これからもっとこの笑顔を見られるように岡部さんと過ごして行ければいいなと思っています。



ゆあさみわ
湯浅実和さん

パンジーについて聞いてみました。まずパンの作業について。「かなり慣れた」と本人。慣れたどころかとても上手で、私の予想では、あともう少ししたらプロになります。パンジーは毎日楽しく通っているそうです。湯浅さんは大東園のあかねグループホームで暮らしています。

湯浅さんは、とても優しい人で、今日も実習に来ていた高校生が一人で洗い物をしていると、一人でしてもらうのはかわいそうと手伝っていました。いつも誰かを助けようとするやさしい人です。また、いつもみんなと一緒にわいわいと作業をしていて、とても楽しい人です。



New Face 新人紹介



たなかたかかず
田中希和さん



田中さんは、毎日9時前に来て、みんなを待っています。その間、職員が勝手に歌う朝の歌を聴かされたりします。田中さんは車椅子の上で笑顔を見せてくれます。みんなが来ると、田中さんとコミュニケーションをとろうと、顔に「ふーっ」と息を吹きかけたり、「ぶっー」という破裂音を聞かせてくれます。みんな、田中さんの笑顔が見たいのだと思います。作業の間もみんなの仕事を見ながら笑顔を見せてくれます。昼食も元気に食べてくれます。嫌いなものは残すけど…。田中さんの笑顔は、みんなに元気をくれていると思います。これからも、いっぱい笑ってくれたらいいなと思います。

みやたかしの
宮田隆志さん

パン屋でパンをこねたり、販売に行くときが楽しいです。いろんな人が買ってくれるし、自分が作った手作りのパンなのでもっともっと売りたい。

帰りには平川君や青山さんと近鉄バスの方向が一緒なので、いつもわいわいと楽しく帰っています。

家ではテレビをよく見ます。バラエティー番組も見けど、ニュース番組のほうが好きで、好きなテレビ番組は「ニュースステーション」です。また夕食前にはよく家の近所のゲームセンターに行き、スロットマシンで遊ぶことが多いです。カラオケも趣味の一つです。

まだまだ未熟な点が多いので、よろしくお願いします。



なかむらの
中村みどりさん

「ババーン」の声が出る時は、絶好調の時。仕事はなかなかちゃんとやっている。よく笑っている。面白い。電車の本とか見るのが好き。いつも、おらかなみどりさんは、自分の気持ちを率直に皆に伝える。ここぞ、というときには車椅子を自分でこいで突進する。ほがらかなみどりさんの笑い声につられて、いつのまにか、みんなも一緒に笑っています。



New Face 新人紹介



こまつばらつよし
小松原 剛さん



4月からパンジーⅡに通い、グループホーム「てくてく」での生活も始まった小松原君。

自転車通勤もすっかり様になり、「きょうは8分で来た！」と自信満々です。

☆趣味は？… ゲームと京阪電車。京阪電車は昔から乗ってるから好き。ゲームは今「桃太郎シリーズ」に凝ってる。プレステⅡでやってる。

☆パンジーⅡでは？…ハンガーをしたり絵を描いたりしている。絵は京阪電車やアンパンマンとかが得意。

☆これからしたいことは？…いろんなこと。わくわくでいろんなところに行って楽しかった。

みぞはたてつろう
溝端哲朗さん

毎日近鉄バスで元気に通ってきます。弱冠19才、背が高くて力持ち、性格も優しく穏やかな人です。ですが時々ちょこっと面白いことを言ったりします。土日は卓球やボーリング、水泳などに行ったりとスポーツ青年でもあります。そういう溝端くんはパン部門で働いています。販売や配達にもいきます。仕事にもすっかりなじみ、実習生や見学者が来たときは、パンの作り方などよく説明してくれます。昼休みは平川君や堀川さんらに混じってB'zやサザンを歌っています。歌もなかなかうまいです。



うちだあきひろ
内田明宏さん

優しくいつも、にこにこ笑顔をふりまいて、その場を和やかにしてくれる、そんな暖かい人です。絵を描くのがとても好きで、パンジーの休憩時間や旅行に行ったときなどにたくさんスケッチをされています。風景画などは家で素敵な色づけもされていて、特にできの良いものは額に入れて飾っているそうです。今回は自画像を描いてもらいました。写真と比べてみてどうですか。今後も皆さんに内田さんの作品を紹介していけたらと思っています。

